

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : RSTX-3

COLOR : YELLOW/SMOKE/GRAPE

WEIGHTBLOCK : RST CORE (新形状コア)

COVER STOCK : MICRO TRAX™ HYBRID REACTIVE

RG : 2.53 ΔRG : 0.053 ID : 0.016

FACTORYFINISH : 1500GRIT POLISH

TRACKFLAREPOTENTIAL : 5-6

BACK END : 17 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

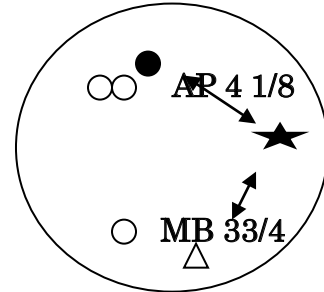
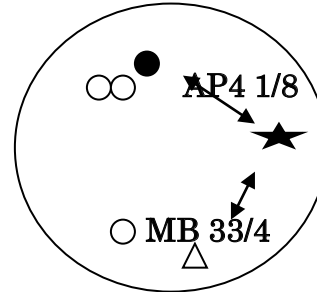


2022 年 4 月 12 日

レイアウト例

RST-X3

RSTX-2



CA55 度

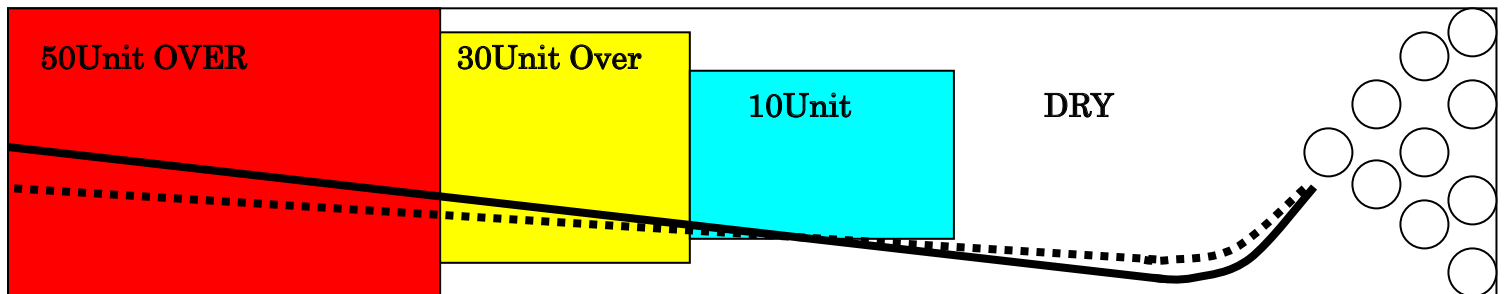
CA55 度

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・

適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】



0F

15F

40F

比較品ライン

RSTX-3

RSTX-2

【レーン状況】ベースコンディションはオトリテーパーでの通常メンテナンス、オイル量のあまり多く無い 21ml と少しミディアムレーンのコンディションです

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

最近の ROTOGRIP はインパクトが強烈な製品開発が盛んで、初代 RST から多くの反響を得ていたシリーズですが、今回 MICRO TRAX を使用する事で適度なスキッドも得られ中慣性ですが回転維持力もある RST コアとのマッチングではやはりバックエンドが強調されています。曲がり方はブレーク P での止まりも見えるのですがピンに寄って行くような扱い易い曲がりの印象がありました。終わらない曲がりが特徴ですね。

【石原プロの使い方と性能説明】



RST シリーズ全体的に言えると思いますが、ATTENTION との使い分けは手前のオイル量で比較的手前の薄いオイルであれば RST の方がポケットに収まりが良く、バックエンドで角度を付けたい時はアテンションと使い分けが出来ます。比較的 RST の方がアーク状の曲がり得られますが曲がり幅は同じ位です。インサイドボウラーには RST の方がお薦めしますね。やはり RST コアの回転維持は最大の武器で高回転ボウラーには必見ですね。

2022 年 7 月販売予定 テスト協力 : アビエーション向島 テスター : 石原 章夫プロ(11 期)

